

## 福島敏夫随筆集

### 「乙戸南雑話「花鳥風月及び星・虹を愛でながら」から

#### 主宰論説 34

##### 2022年を振り返って

今年も、喜怒哀楽いろいろなことがありました。喜楽よりは、怒哀の方が、多かったのかもしれない。

悲しみとしては、先ず、新型コロナウイルスのことがありました。一昨年、昨年に続き、今年も、変異を繰り返しながら感染拡大を繰り返す新型コロナウイルスへの対応が迫られ、それによる行動自粛等を強いられました。世界的には、多くの国民の数度のワクチン接種による感染抑制効果があったのか、重症化が少なくなりましたが、第7波・8波による感染が、日本だけでなく、近隣諸国でも、再拡大しつつあり、予断を許さないのが、心配されるところです。ロックダウン方式だけでは、感染拡大は、防げないところもあり、有効な方策を再度検討する必要があると思われまます。冬場のインフルエンザ予防接種と新型コロナウイルスのワクチン接種による両方の感染対策が要請されました。早めに鎮静化して、旅行も含めて、諸活動が、再開できるようになることを願いたいものです。

喜びとしては、4年ぶりに開催されたサッカーの世界カップで、日本チームが、予想以上に健闘を見せ、ベスト16入りをなしとげたことが、上げられます。選手たちのひたむきな姿とともに、監督とサポーターの振る舞い方が、世界的な感動と称賛を得、夢と希望の大きな力となったことは、素晴らしいことでした（半面、開催国の外国人出稼ぎ労働者の悲惨な実態も報道され、胸が痛むこともありました）。また、アメリカのプロ野球で、とある日本出身の若手選手が、今年も二刀流の大活躍をし、アメリカのプロ野球史を書き換え、若者の新しい挑戦と夢と希望の源になったことも、記憶に新しいところです。また、アメリカのプロ野球の中堅の花形選手および日本の若手選手の年間ホームラン本数の記録更新（日本の若手選手は、野手として、三冠王も達成している。大したものです。）もあり、新記録ラッシュでした。スポーツが、感動をもたらし、夢と希望につながる力もたいしたものだと、感心させられることも多かったようです。また、囲碁、将棋界での新鋭たちの大活躍や、音楽界や芸術界や学界などでの、ベテランの、情熱と技能の衰えないしぶとい活躍、若い人たちの新しい胎動と創造の動きも、頼もしく感じられました。

他方、驚きというべきか、今年も、地震、陸上及び海底火山の噴火、竜巻、火災、風・水害、土砂災害、豪雨と土石流、雪害と凍結と停電など、想定外の天変地異の自然災害、人災および複合災害が、多発しました。東日本大震災の余波と思われる震度6クラスの地震も、かなり発生しました。また、トンガ島近海の海底火山の大噴火、カムチャッカ半島のベズィミアニ火山の噴火、ハワイのマウナロア火山の大噴火、インドネシアのスネル火山の大噴火などの火山噴火は、自然の猛威を知らしめるには、十分でした。アフリカ、中近東およびヨーロッパ西部に置ける熱波と旱魃、オーストラリアやアメリカのカリフォルニアでの山火事は、激しいものがありました。また、別に、パキスタンの痛ましい洪水が、続きました。日本の全国的な酷暑は、相変わらずでしたし、小規模の失火や放火によると思われる胸の痛くなる悲惨な火災が、続出しました。亡くなられた方々の心からのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様のお見舞いと、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

1月の雪害による北陸道における交通麻痺に続いて、年の瀬が迫ってから、史上最強に近い『日本海寒気団』等による北海道、東北、北陸、山陰地方の日本海側だけでなく、全国的に、大寒波と大雪の雪害に見舞われました。アメリカ、カナダの北米、イギリス等での大寒波と雪害も、厳しいものがありました（雪は、スキー場にとっては、営業上不可欠ですし、貴重な水資源にもなりますが、「時により過ぎれば民の嘆きなり」です）。尊い命を守るために、防寒対策とともに、防災・減災対策は、忘れないようにしてもらいたいものです。被災された皆様のお見舞いと、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。結果的には、今年も、伝染病と複合災害と経済の同時克服が迫られました。難しい面もあるかと思いますが、英知を結集して、来年には、解決の方向に向かうことを期待したいものです。

他方、悲しみと怒りが入り混じるようですが、外では、相変わらず、民族的紛争、宗教的争い、内戦・テロ、世界の覇権をめぐる争い等は、絶えることがなかったように思われます。シリア、アフガニスタン、ミャンマー内戦は、まだ、続き、収束の兆しが、見えません。イランの女性統制に対する反抗運動、中国のゼロコロナ政策に対するしびれを切らした反抗活動なども、新たに紛争の火種となりかねません。2月からのロシアによるウクライナ侵攻と戦争は、ウクライナ国民に大惨禍をもたらすとともに、地球的な規模での、資源・エネルギー問題を悪化させ、貧困・飢餓、伝染病の蔓延・拡大など、いろいろな意味で、世界各国に、夢と希望を失わせかねない大きな災禍の源となりました。北朝鮮、中国、ロシアの近隣専制国家による軍事的脅威が増大し、収まるどころがありません。自衛と反撃のため、防衛費を増やさざるを得なくなった原因であります（できれば、学術と文化の振興、社会保障費に向けたところだと思われませんが）。

内では、胸の痛むいろいろな傷害、殺戮、銃撃・凶弾事件が続出しました。心ならずも事件に巻き込まれた方々への御見舞を申し上げますとともに、志半ばで倒れられ、亡くなられた名士・国士に近い方々への御冥福をお祈りしたいと思います。また、相変わらずの政治的な灰色の霧および不透明問題、医療崩壊の危機、飲食店や観光業の休業・時間短縮による営業困難、看護・保育施設の経営悪化や虐待問題、契約社員やパート等の労働環境の悪化、営業対策助成金の不正受給問題、人を救うはずの宗教法人のとんでもない裏の顔の露呈問題、夢の祭典であるはずのオリンピック・パラリンピックに絡む不正金脈・組織的癒着問題の露呈、インターネット空間での通信妨害・障害、偽メールによる不正サイト誘導、サイバー攻撃による情報漏洩および制御機能停止問題、蔓延する振り込め詐欺問題など、悲しく、暗い話も、続出しました。

今年も、昭和・平成・令和時代を支えた名人・偉人・面白人たちの多くが、長い二度と帰らぬ永遠の旅路に赴きました。また、世界的にも有名な偉人に近い人等も、この新型コロナウイルス禍による訃報も続出し、悲しみに、襲われることもありました。伝染病と複合災害、および戦乱・内乱のトリプルパンチで、いろいろな内外の学・協会の多くの重要な会合は、中止・延期になりました。世界的にも、対面開催はむつかしく、オンライン開催が、主流になりました。

気候変動などの自然災害に対する有効な対策が、カーボン・ニュートラル、カーボン・リサイクルなど、ようやく出そろいましたが、筋書き通りに実効性があるのか、いまだ見通しが不透明な問題があります。マイクロプラスチックによる生態系への深刻な影響は、海洋ばかりでなく、大気中でも見られるという報告もあり、懸念されます。

固体・液体・気体の廃棄物問題、生物多様性の激減、開発途上国での貧困・病気の蔓延など、地球環境問題が、地球における生物全体の存続をも危うくする危険性も指摘されるようになり、改めて、持続可能な開発目標（SDGs）の重要性が認識されました。可能な限り、的確な防災・減災対策とともに、実効性のある対応策を考える英知が必要であると思われました。また、改めて、頂いた命を大切に、天命を全うすることの重要性も、考えさせられました。

ただ、嬉しく、喜ばしく、夢と希望をもたらす話もかなり多かったです。芸術界、文

化界、スポーツ界でのいろいろな快挙、科学界でのすばらしい発見や創造、工学および実業界での新しいイノベーション（DX, IOT, 人工知能、ビッグデータ、ロボット、スーパーコンピュータの新型コロナウイルス感染対策等の社会貢献での活用、量子コンピュータの実用化の動き、科学技術と芸術の融合、無人飛行機ドローンの平和目的の利用の進展、可視化の高度化など）、皇室・皇族のほのぼのした話題など、今後に向けての明るい話題もありました。人と生物と自然との共存・共栄と宇宙船地球号の大切さ、世界遺産の保存と存続と世代的継承、地域・地方社会の再生と活性化に向けての着実な動きなど、情熱と努力と継続を感じさせる話も結構多かったですと思います。

ただ、世相が大変な中で、忘れていたかも知れませんが、いろいろな建造物や文化遺産の老朽化とその対策について、考えさせられることも、多かったです。材料・部材等の劣化は、必要な性能・機能の経時変化として、社会的インフラや建造物の損傷やその資産価値の低下や不測の事故（知床半島沖での観光船の胸の痛む事故も、劣化に対する点検不良が、原因の一つだったようです）、および世界遺産の存続にも影響を与え、寿命を早めることもわかってきました。また、自然災害や人災および複合災害の際の危険度を高めることにもなります。気候・風土の影響もありますが、地球環境の変化も、複合災害の増大にも連なることもあるようです。長期的な実効的な対応策とともに、短期的・中期的な防災・減災対策を考えることが重要だと考えられました。軍艦島等の世界遺産となっているいろいろな建造物も、正しい劣化と寿命の知識に基づいて、維持・保全、修復、再生を行い、必要あれば、解体・廃棄をするという判断が必要になることもあるようです。寿命にも、いろいろあるようです。劣化現象がどのように起こるのか、メカニズムの研究例は、多いけれども、それをわかり易く“見える”ようにする（「可視化」）とともに、寿命に結び付ける話も、重要であることが、再認識させられました。

私自身は、神経性の障害、腰痛、緑内障、血行不良など、ぶり返して、いまだに体のいたるところに残る機能不全と不具合に悩ませられながらも、リハビリテーションに努めました。完全回復は、無理でも、一部改善気味のものもあり、再生と復活を期待したいものです。花鳥風月及び星・虹を愛でながら、言論の自由と情報発信と啓蒙による世界貢献に努めるかわら、**“多頭流方式”**での研究活動を続けることができました（これまで、トロイカの3頭馬車方式でしたが、3頭ぐらい増えたため、多頭流方式に、名前変更をしました）。いろいろな人々に助けられて、予定していた3つの学会（マテリアルライフ学会、日本建築学会、日本建築仕上学会）の研究発表を無事終えることもできました。また、新たに、3つの研究発表を加えることも出きました。また、また、久しぶりに、コンクリート工学会とRILEM（国際材料・構造試験・研究機関専門家連合）との共催の「コンクリート構造の再生に関する国際会議」で、英語による研究発表を無事すませることもできました。対面形式の会議・学会開催も一部ありましたが、新型コロナウイルス禍の再拡大への配慮から、多くは、オンライン形式の開催でした。対面方式での研究発表も大事ですが、当分、オンライン形式での学会の研究発表会が続くと考えられました。オンライン形式も、遠方からの参加が可能で、便利ですが、熱意が伝わると意味では、対面方式が有効であり、来年は、この新型コロナウイルス禍が沈静化し、対面方式の会合が多くなることを期待したいものです。

今後も、リハビリテーションに励んで、知力・体力・学力の回復とともに、生命力の回復を図り、やり残した話の実現を図りたいと思います。数独パズル、クロスワード・パズル、偏微分方程式等の応用数学などを楽しんでいるので、頭の働きは、まだまだ残っているらしいです。ですが、随分長らくやっているのですが、インターネットを利用した囲碁、麻雀は、相変わらず、まるでダメ。よほど才能がないようです。しかし、懲りずに続ける積りです。

また、Facebook 等でいろいろな情報交換を行うことができました。昔、国際会議等を通じて訪れた、世界各国（フィンランド、スウェーデン、オーストラリア、カナダ、フランス、スペイン、ドイツ、アメリカ、シンガポール、中国、インドなど）や、日本の学・協会の研

研究会への参加等を通じて訪れた日本各地（京都・奈良・大阪・札幌・小樽・函館・富山・金沢・新潟、和歌山・三重、大宰府・福岡・熊本・鹿児島、別府・湯布院・阿蘇・雲仙・門司・長府・萩、広島・岡山・神戸、名古屋・浜松・横浜・東京、日光・つくば、江の島・鎌倉、仙台・平泉、会津若松・郡山等）の素晴らしい風景や美しい街並みや庭園の映像、あるいは、山・川・海の絶景や、動・植物の生き生きとした生態、美しい虹や星の映像、日本の桜の花や紅葉や雪景色等に代表される四季の移り変わりの映像、神社・仏閣・花園のライトアップの映像が提供され、楽しむことができました。最近では、富士山等のいろいろな山の情景、春・夏・秋・冬折々の月の百景も、提供して頂けるようになりました。世界各国の世界的な建築家の名建築のデザインばかりでなく、無名のデザイナー等によるインテリア・デザインについても、映像および活字による情報を提供してもらえ、新たな感覚を養うこともできました。また、橋やダム、上水道等の土木遺産の映像や活字による情報も提供して頂き、社会的インフラの実態にも触れることができました。テレビでの「世界遺産」の紹介番組、新「美の巨人たち」の紹介番組を通して、世界自然遺産の絶景や建造物の芸術的美景を楽しみました。また、国際会議等で訪れた都市（パリ、ロンドン、マドリッド、ドレスデン、シンガポール、ニュー・デリー、西安、メルボルン、バンクーバー、オッタワ、モントリオール、ホノルル、ニューヨーク、ワシントンなど）の四季の景色も、映像で、楽しむこともできました。

他方、YouTube を通じて、いろいろな諸国の民謡（イギリス民謡、アメリカ民謡、スペイン民謡、ドイツ民謡、チェコ民謡、ポーランド民謡、フィンランド民謡、ロシア民謡、ネパール民謡、ペルー民謡、ウズベキスタン民謡、トルコ民謡、インドネシア民謡、フィリピン民謡、中国民謡、台湾民謡、韓国民謡、日本民謡など）、フランスおよび日本のシャンソン（パリの空の下で、夜明けの歌、愛の讃歌など）、日本の懐かしの歌謡曲（青い山脈、時計台の鐘、ニコライの鐘、長崎の鐘、希望、ジュピター、北ウイング、北空港、北の旅人、熱い心に、二人の銀座、喝采、乾杯、いい日旅立ち、川は呼んでいる、川の流れるように、異邦人、銀色の道、サライなど）や日本の唱歌（からたちの花、冬の星座、富士山など）、旧制高等学校寮歌（ああ玉杯に花受けて、紅萌ゆる、伊吹おろしなど）、東日本地震等からの復興支援ソング（スタンド・アロン、花は咲くなど）や、クラシック音楽（G線上のアリア、美しき青きドナウ、ドナウ河の漣、乙女の祈り、トルコ行進曲、田園、新世界「家路」など）、世界のヒットメロディー（真珠とり、夜空のトランペット、コーヒールンバ、南国の夜、虹のかなたに、コンドルは飛んでいく、など）を、楽しむことができました。ピアノ、ギター、バイオリン、エレクトーン、ウクレレ、オカリナ、ハーブ、ハーモニカ、アコーディオン、二胡、ケーナ、マンドリン、トランペット、フルートなど、多様な楽器による音楽も楽しみました。Facebook のソーシャル・ネットワーク（SNS）で、いろいろな人、サークル、同好会、企画と繋がり、いろいろな情報発信および情報交換等を持つこともできました。有り難うございました。

また、電子メールや郵便、電話等を通じて、昔からの友人、知人、親族、仕事関連の人々等とのやり取りにより、貴重な情報交換ができました。ありがとうございました。

いろいろな自然とのかかわり、人等のつながりの中で、今年も、間もなく暮れようとしています。寒さが、厳しくなる折柄、また、想定外の天変地異も多くなると考えられますので、皆様、ご自愛ください。来年も元気にやりましょう。

大寒波と雪害がまだまだ収まりきらない中で、今年も、終わりになります。改めて、静かな良い年末と夢と希望と光の見える来年を迎えられることを期待したいものです。今年の皆様のご厚情に感謝したいと思います。良いお年をお迎えください。

令和4年12月28日午前 乙戸南にて 福島敏夫

